

科目ナンバー	PHI-2-004-sn			科目名	総合科目：人間を考える		
教員名	野口 華世、野村 誠、西川 正也、奥田 雄一郎、松本 学、大嶋 果織			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	「人はいかに生きるべきか」「私はなにものなのか」などのようなことを、一度くらい考えたことはありませんか？このような哲学的命題に答えはなかなか見つけられないものです。しかし、多くの学問はこのような命題と全く無関係ではなく、むしろそれに答えようとして、発展してきたとも言えます。それは、いかに生きる人間について考える心理学であったり、悩む人々を導くことを考える宗教学であったり、いかに生きるべきかを語る文学であったり、人々がどのように生きぬいてきたのかを明らかにする歴史学であったりするのです。そして、心理・人間文化コースには、多くの学問のなかでも特に人間について考える学問を専門とした先生が集まっています。その各先生の専門はひとりひとり異なります。そこで、この「総合科目：人間を考える」では、心理・人間文化コースの教員全員が担当するという形式で、さまざまな学問を通じ多様な角度から、人間というものを探究してゆきたいと考えます。また学外の講師によるその他の分野の講演もありますので、多様な学問から「人間」を見ることによって、自分なりの「いかに生きるべきか」という道筋が見えてくるかもしれません。せめてヒントとなることを見つけてほしいと思います。						
到達目標	異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかに生きるべきかのヒントを自分なりに見つけていきましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わっているのかを学び、考えましょう。受講者ひとりひとりが、各学問や授業におけるグループワークを通じて、自分を含む「人間」について考え、さらには自分を含み環境との「共生」という問題までも考察してほしいと思います。したがって、授業やグループワーク、また学外の講師による講演を通じて、「人間」について考え、自分なりの意見をもち、発表することができる、ということを到達目標にします。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	各教員による授業や、学生同士のグループワークを中心に行います。授業ごとに課題が出ますので、積極的にグループワークをしましょう。また、グループでのディスカッションの内容については各グループごとに発表（プレゼン）します。また各授業の終わりにはコメントペーパーを書いてもらいます。また、「人間」について考える学問を専門とした学外の先生による講演会等も多数予定しています。講演会の際には感想ペーパーを配布し感想文を書いてもらって、講師の先生にフィードバックします。各授業をよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に活用しましょう。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	心理・人間文化コースの2年次必修科目です。						
アセスメントポリシー及び評価方法	成績は、授業でのグループワークへの参加・コメントペーパーの提出などの平常点と講演の感想文の提出状況（以上50％）に、学期末のレポートまたはテスト（以上50％）を合わせて評価します。レポートは「授業」（講演会ではない）の内容をもとに各自でテーマを選択し、そのテーマについて担当した学内の教員に提出することになります。						
教材	必要な資料は授業時に配布します。						
参考図書	萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』（岩波文庫、新潮文庫他） 松田忠徳著『温泉教授の温泉ガイド』光文社新書 遠藤利彦他著「乳幼児のこころ」有斐閣 2011年 無藤隆・池上知子・福丸由佳・森敏昭（編集）「よくわかる心理学」ミネルヴァ書房、2009年 無藤隆・遠藤由美・玉瀬耕治・森敏昭「心理学（New Liberal Arts Selection）」有斐閣、2004年 中島義明・箱田裕司・繁樹算男「新・心理学の基礎知識」有斐閣、2005年 越智啓太、徳田英次、荷方邦夫、望月聡、服部環「心理学の「現在」がわかるブックガイド」実務教育出版、2011年 都筑学「希望の心理学」ミネルヴァ書房、2004年 都筑学 白井利明（編集）「時間的展望研究ガイドブック」ナカニシヤ出版、2007年 山本登志哉 高木光太郎（編集）「ディスコミュニケーションの心理学」東京大学出版会、2011年『群馬県の歴史』山川出版社、1997年 原口美貴子『上毛かるた その日本一の秘密』上毛新聞社、1996年						

中村哲『天、共に在りアフガニスタン30年の闘い』NHK出版
澤地久枝・中村哲『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る——アフガンとの約束』岩波書店
*その他の参考文献は授業でも紹介します。

内容・スケジュール

1週目

授業学修内容	オリエンテーション(概要紹介・グループ分け)		
授業外学修内容	シラバスを読んでくる	時間数	0.5

2週目

授業学修内容	授業：若者の発達・文化・学び（奥田）		
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1

3週目

授業学修内容	講演1「グローバル関連講演」		
授業外学修内容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	1

4週目

授業学修内容	授業：世界の見方、世界の見え方—地図から学ぶ多様な視点—（大嶋）		
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	0.5

5週目

授業学修内容	授業：発達心理学入門（松本）		
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1

6週目

授業学修内容	これまでのまとめと振り返り		
授業外学修内容	これまでの学習履歴を振り返り、3年次以降の課題ゼミにおいて自らが何を専門とするのかについて考える	時間数	1

7週目

授業学修内容	授業：萩原朔太郎の詩と生涯（西川）		
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1

8週目

授業学修内容	授業：『上毛かるた』からみる群馬の歴史（野口）		
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1

9週目

授業学修内容	講演2「心理学」		
授業外学修内容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	1

10週目

授業学修内容	講演3「歴史学」		
授業外学修内容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	0.5

11週目

授業学修内容	授業：群馬の温泉（野村）		
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	0.5

12週目

授業学修内容	講演4(人間文化系、共生)		
授業外学修内容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	0.5

13週目			
授業学修内容	講演5(心理学系)		
授業外学修内容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	2
14週目			
授業学修内容	講演6(人間文化系)		
授業外学修内容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	2
15週目			
授業学修内容	授業の振り返り心理・人間文化コース卒業論文発表会*以上の授業の担当順序・内容などは変更になる場合があります。		
授業外学修内容	振り返りとして卒業論文発表会に関する感想文を提出レポート作成	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		16.5	
その他に必要な自習時間		73.5	

Number	PHI-2-004-sn	Subject	What is Man?		
Name	野口 華世(Noguchi Hanayo)、野村 誠(Nomura Makoto)、西川 正也(Nishikawa Masaya)、奥田 雄一郎(Okuda Yuichiro)、松本 学(Mataumoto Manabu)、大嶋 果織(Oshima Kaori)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Have you ever thought about things like, "How should people live?" or "What am I?" The answers to these kinds of philosophical questions are not easy to find. However, most academic fields are not completely unrelated to these questions. Rather, one could say they have developed trying to find an answer. This applies to psychology which thinks about people living in the present, to religious studies which thinks about guiding people in distress, to literature which tells us how we should live, and to historical science which clarifies how people have survived. The "Psychology, Humanity and Culture Course" has many professors who, out of many fields, specialized particularly in fields that think about humans. Each professor has a different speciality. In this course "What is Man?", we will research humans from various angles and through various academic fields, with participation of all the professors from the "Psychology, Humanity and Culture Course". By looking at humans through different academic fields, we might come to see our own truth for "how should people live". We hope students will find a hint to that question.</p>				